

共生・公正・創造  
共生の精神のもとに、心  
とこころをつなぎ、次代  
につながる公正な社会を  
創ります。

# JR東日本労働組合 東京地本

JR東日本労働組合  
東京地方本部  
東京都千代田区鍛冶町2-11-11  
発行者・福田 高夫 編集者・室岡 圭司  
TEL(NTT)03-3251-2191 (JR)057-2292  
FAX(NTT)03-3251-2192 (JR)057-2292

## 2017年度賃金改定要求

1. 基本給ならびに初任給を、社員一律 6,000円引き上げること。
2. 定期昇給を実施すること。昇給係数は 4 係数とすること。
3. 「エルダー社員就業規則」を改め、社員に準じて賃金を引き上げること。
4. 「グリーンスタッフ就業規則」を改め、社員に準じて賃金を引き上げること。



いかに時代が変わろうとも、弱い者同士が集まつて、労働組合として闘うこととは何ら変わらない。中央委員の活発な議論によって、ともに中央委員会を成功させよう」と述べました。以後の議事をスムーズな進行で成功へと導いた。

議長に、郷中央委員を選出した。就任挨拶で、郷議長は「今委員会は2017春闘の方針を決める重要な委員会である。近年の春闘は以前のように弱い者が集まり、一つの大きな力にして会社にむかうというよりは、一社員対会社の様相を呈していないだろうか。

被災エリア現地踏査を行った。

高速道路や草薙駅に設置されている線量計では常に高い放射線量を表示しているなど「まだ震災は終わっていない」とい

う現実を突きつけられた。原発事故の復旧も終わっていないなかで、未だ漏れ出している放射線のかで働く仲間たちが苦労していることを強く感じ

ていることを感じます。この現状をさまざまに風化させてはならない。苦労している仲間を支援していく。

昨年、川崎発電所で最も古い一号機において耐震検査が行われた。結果

「震度六強以上で倒壊の

可能性がある」と診断された。会社は「建屋立ち入り制限」の周知のみの対策。私は「建屋の耐震補

強での安全確保や早急に建屋内の必要な設備の移転、その後に早急に建屋の撤去をするべきだ」と

職場で発信してきた。常に自らが発信していかなければ、このことすらも

風化してしまう。

会社は「新1号機が数年後にできるまで、現在の1号機建屋はそのまま」

ありきでしか考えていな

いのか? 常に職場で仲間とコミュニケーションを

取組みながら、常に職場で仲間とコミュニケーションを取組みながら、常に職場で仲間と

コミュニケーションを取組みながら、常に職場で仲間と

